

# 北条中学校の自転車通学について

## 一般質問



織部 徹 議員  
(21政会)

**問** 北条中は、富田中との統合後、徒歩通学となっている。加西市では小学校は徒歩通学、複数の小学校区をまたぐ中学校では自転車通学を実施してきた。福居町の別名や尾崎団地などからの通学には一時間弱はかかる。中学生になりたての小柄な生徒が、重い荷物を持ち、汗だくになりながら通学している姿は見るに忍びない。そこで中学校の基本的な通学方法の考え方についてお聞きする。

一番遠いところから通学する場合の、距離と時間についてもお聞きしたい。また、交通事故への懸念については、危険箇所では自転車を押

すなど指導しながら認める必要があるのではないか。

**答** 北条中以外の3校では、距離を決め自転車通学を実施していますが、北条中学校区内は、通学時の交通ラッシュのために安全な通学路とは言えず、徒歩通学としています。北条高校前、別名あたりからの通学は3.5Km程度、約50分を要します。また県道三木穴栗線、三井住友銀行から住吉神社に至る道路、横尾第二の交差点などの危険箇所があり、自転車での安全な登下校が現状では難しいところです。

**問** 北条中の自転車通学が危険ならば、なぜスクールバスを出さないのか。義務教育です。公共交通機関の補助なども考えていただきたい。学校統合時における、通学方法についての検討がまったく不十分であったと思う。自転車を押すところがあってもよいので、教育委員会とし

てなんとかしてやらねばという観点に立って、何か方策を考えていただきたい。

**答** 保護者、PTAから自転車通学の許可を求める声もあります。安全な通学路が確保でき、保護者や地域において支援のムードが高まればと思います。

ご提案について新たな課題として検討していきたいところですが、やはり学校サイドの判断が第一です。教育委員会は、保護者や学校等の申し出を受けて承認する立場であり、こちらから直接指示はできないという点については、ご理解いただきたいと思います。

### ■その他の質問項目

- ・学校管理職の資質と素養について
- ・夢っ子クラブの活動場所について

## 請願の審議結果

9月定例会では、請願1件を所管の総務委員会に付託して審議、本会議最終日で採決を行い、以下のとおりの審議経過及び議決結果となりました。

### ■請願の内容

OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するために30人以下の少人数学級を推進すること、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国の負担割合を2分の1に復元することを求める意見書を国の関係機関へ提出していただきたい。

### ■総務委員会、本会議での討論

#### (賛成意見)

- ・経済状況・教育環境などの多様化や、不登校・いじめ問題など、児童・生徒を取り巻く環境は複雑化してきている。学級では一人ひとりの子どもに対して、注意深い観察と温かい声掛けなど、よりきめ細かい指導が求められているが、市単独を含む現在の加配措置では不十分であるため、30人以下学級の実現が必要である。

#### (反対意見)

- ・少人数指導、スクールアシスタントやヤングアドバイザーの配置、STARTプログラムの導入など、教育環境や児童・生徒の実状に合わせ、創意工夫により加西市独自の教育施策を展開している。毎年出されるこの請願は、全国に誇れる「教育都市かさい」の実現に向けた、これまでの努力を否定することになる。

### ■委員会での議決結果 全会一致で採択

#### ■本会議での議決結果

○…賛成 ×…反対

議案	松尾幸宏	植田通孝	深田真史	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	高橋佐代子	別府直	黒田秀一	井上芳弘	森元清蔵	三宅利弘	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
請願第2号 30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元を求める意見書の採択について	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案採択 (賛11、反3)